

ミッドナイト・キンダールーム

吉田知世 作

幕開け。舞台上にはベッドだけがある。ベッド上に、幼稚園年少の女の子Bが寝ている。上手から、後ろを振り向きながら、そおっと幼稚園年長の女の子Aが入ってくる。A、上手奥の様子を伺いながら、そおっとドアを閉める。

B お母さんたち、寝てた？

A うん。

B やったー。

B、ベッドの上に起きあがる。A、その隣に座る。

B 夜だねー。

A 眠たくない？

B 大丈夫。

A お昼寝長々作戦、大成功。

B うん。ねえねえ。

A ん？

B 夜って、なんか静かだね。

A 大人も寝ちやってるからね。

B お姉ちゃんは、起きてたことあるの？

A ー、オオミソカとか。

B オオミソカ？

A うん、コーハクだよ。

B コーハク？

A うん、小島よしおが出るんだよ。

B へえ、昔の人が出るの？

A 大人のテレビだからね。

B ふーん。ねえねえ、何する？

A お出かけ！

B えーっ、二人で？

A そうだよ、ボーケンだもん。

B ボーケンかあ…。デイズニールランド？

A ばか、デイズニールランドは夜はやってないの。

B えーっ。じゃヒガシヤマ。

A 動物園もだめ。
B カサマツは？
A それ、お父さんの行くところ。
B えーっ、つまんない。じゃ、どこならいいの。
A コンビニ。
B コンビニ？
A そう。コンビニは夜もずうううっとやってるの。
B コンビニって何？
A えっとねえ。何でも売ってるの。
B 何でも？
A そう、何でも。
B プリキュアも？
A 売ってる売ってる。
B そーかー。
A あ、でも、大人のプリキュアだから。
B 大人の？
A そう、アキバケーの、プリキュア。
B アキバケーって？
A スカートすっごい短いの。
B ふーん。でもいいや、じゃプリキュア買いに行こ！

A …いいよ。でもさちこ、勇気ある？
B ゆうき？ なんで？
A じゃあさ、さちこ、そっちからコンビニに入ってくるつもりで来て。
B こっちから？
B、上手に移動し、ベッドの前あたりまで歩いてくる。

B くださーい。

いきなり、AがBの足下にしゃがんで、煙草を吸う真似。下から睨み上げて、

A あく？ おい、パン買って来いよ。
B えーっ！ 誰？
A ちーまー。ほらパン！
B さちこ、プリキュア買うんだもん。
A パン買ってくんだよ、パンをよ！
B えええっ？

B、しゃがみ込んで泣き出す。A、あわてて慰めるが、ドアが開いて、お母さんCが入ってくる。A、ダッシュでベッドに戻って狸寝入り。

- C さちこ、どうしたの？
B おかーさん。
C 怖い夢でも見たの？
B ううん。ちーまーがいじめる。
C ちーまー？ なんであんたそんな言葉知ってるの？
B パン買わなくちやいけないの。
C パン？
B 何パン買えばいいの？
C ええっ？ あー、メロンパン？
B メロンパンやだー、メロンの味しないー。うそつきー。
C もう、ほらほら、寝ぼけてないで。寝なさい。お休み。
B お休みなさい。

C、上手に去る。B、眠り始めているが、Aに起こされる。

- B おはよう。
A ちがうよ。
B え？ ああ、コンビニだった。
A 分かった？

- B あの何？ お姉ちゃん。
A コンビニの前には絶対いるの。
B どのくらい？
A んー、五十人くらい？
B 五十人でいっぱいじゃないの？
A うん、すっごいいっぱい。
B どうしたらいいの？
A チップをあげるんだよ。
B チップ？
A そうしたら、みんな気を付けて「お帰りなさいませ、ご主人様」って言うんだよ。
B 五十人も？
A そう、ずらーっと二列に並んで。「アニキ、おつとめご苦労さんでした」って言う時もあるね。
B チップって、ポテトチップ？
A そう。
B 何味？
A コンソメパンチ。
B あー、おいしいもんねー。
A で、やつとコンビニに入ります。
B 大変なんだ。
A ボーケンだもん。じゃ、入ってきて。

B、上手に移動して、お客さんになる。

B プリキュアくださいーい。

A (オカマっぽく) いらっしやいませ〜。

B どうしたの？ お姉ちゃん。

A 大人はこういうふうに言うんだよ。

B へえ。

A 何さしあげましょうか？

B プリキュアください。

A はいどうぞ。

B ありがとう。

A ほかにほしいものはありますか？

B なんでもあるの？

A なんでもあるよ。コンビニだもん。

B じゃあ、シルバニアもください。

A はいどうぞ。

B ライオンありますか？

A メスしかありません。

B えー、じゃあ、トラのオスは？

A あります。

B じゃあください。あとー、3LDKの南向き角部屋ください。

A はいどうぞ。ポテトのご利用はありませんか？

B じゃあ、ポテトください。

A はいどうぞ。ドリンクバーはおつけしますか？

B はい。

A あちらでどうぞ。かゆいところはごさいませんか。

B とろろ食べると口の周りがかゆいです。

A ああ、もじよもじよするよね。

B 掻くとひりひりするの。

A ご注文は以上ですか。

B はい。

A ごゆっくりどうぞ。

A、下手に去ろうとする。

B ねえ。

A ん？

B コンビニってレストラン？

A ……そろそろ本日のショーが始まります！

- B ええっ？
- A 本日はアシカのショーです。
- B そんなのも売ってるの？
- A 何でもあるからね。
- B すっごーい。
- A じゃ、さちこ、アシカね。
- B アシカ？

A、Bをアシカ役にしてアシカショーを展開する。かなりドタバタとつるさい。Aの投げた魚をBがキャッチ成功したあたりで、C、いきなり入ってくる。B、「お母さん！」と抱きつく。

- B 見てー、イワシキャッチできたー。
- C イワシ？

Aは隠れるタイミングを失って、おたおたとそこいらを駆け回った末、

- A おはよう！ (※ もうちょっと子供らしいごまかしを工夫したい)
- C 何が「おはよう」よ。なんでこんな時間に起きてるの。
- B あのね、ボーケンだよ。
- C 冒険？

- B コンビニ・ボーケン。
- C だめでしょ、夜中に遊んでたら。
- A (Cにすり寄って) お母さん。
- C ん？
- A 夜っておもしろいね。
- C だめよ、子どもが起きてる時間じゃないわ。

言いながら、Cを真ん中にして三人ベッドに座る。

- C 子どもはね、夜はぐっすり寝るものよ。そうすると、ぐぐぐぐって大きくなるの。
- B 寝ると大きくなるの？
- C そうよ。
- A 寝ないと？
- C 縮んじゃう。
- A うそ。
- C ほんとよ。けいこ、せっかく大きくなったのに、さちこより小さくなって妹になっちゃうわよ。
- B さちこがお姉ちゃん？
- C かもね。
- A うそだ、そんなの。
- C うそじゃない。あれ？ けいこ、晩ご飯の時より小さくなってる！

A ええっ？
B ほんとだ、お姉ちゃんちいちゃくなってる！

A、泣き出す。C、Aを抱き寄せて。

C 困ったねえ。よし、お母さんがおまじないしてあげる。むにやむにやむにや…、はいっ！

C、Aをじっと見て、

C 良かった、元に戻った。
B 戻った戻った。
A ほんと？
C ほんとほんと。

C、AとBの頭を左右の膝に置いて。

C 夜にはね。秘密がたくさんあるの。
A 秘密。
C そう。子どものうちはね、そっとしておかないといけない秘密。
B さちこ、知ってる。

C あら、知ってるの？
B うん、えーとね、ちーまーはちっぷぶあげて、大人のプリキユアはアキバケー。それで、うんと、うんと、アシカもやってる！
C それはすごい秘密ねえ。お母さんも知らなかった。
A ほんととどんな秘密？
C 秘密は秘密。子供は寝るの。お姉ちゃんだから、さちこをちゃんと寝かせてね。
A はーい。でもお母さん、どうしてけいこがお姉ちゃんなの？
C どういうこと？
A さちこを先に生んでお姉ちゃんにしようとは思わなかったの？
C そうねえ、どうしてかしらねえ。
B さちこ、お姉ちゃんがいい。(半分寝始めている)
C しょうがないのよ。けいこはお姉ちゃん、さちこは妹。どっちもステキよ。
A そうかなあ。
C もう寝なさい。じゃ、お休み。

C、二人に布団を掛けて、上手のドアの方へ歩く。Bは熟睡。A、その背中へ。

A お母さん。
C ん？
A あたしたち、どこから来たの？

C それはね。買ってきたのよ、コンビニで。

C、ドアを閉めて上手に去る。A、ちょっとした間、そのドアを見つめて茫然としていたが、やがて、

A えーーーーっ！

暗転。幕。